

# 総務常任委員会

総務常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

## ◆専決処分承認を求めるところについて

8月5日から6日にかけて発生した豪雨災害の復旧に係わる経費について予算措置を必要とし、財政調整基金より5469万8千円を繰入金として専決処分したものです。

## ◆白河市長等の給与の臨時特例に関する条例

国家公務員給与に関わる臨時特例法による人件費削減の趣旨を踏まえ、東日本大震災後の社会経済情勢、厳しい市財政等の諸情勢に鑑み、市長等の給料月額を減額するため、条例を制定するものです。  
削減率は、市長、副市長、教育長ともに10%。

## ◆白河市職員の給与の臨時特例に関する条例

国家公務員給与に関わる臨時特例法による人件費削減の趣旨を踏まえ、東日本大震災後の社会経済情勢、厳しい市財政等の諸情勢に鑑み、職員

の給料月額を減額するため、条例を制定するものです。  
減額率は、職務の級に応じ以下のとおり。

2級以下の者 4%  
3級又は4級の者 6%  
5級以上である者 8%

**問** 本年度限りの期間限定で済むのか、来年度も可能性としてあり得るのか。

**答** 基本的には今年度限りと判断している。

**問** 削減実施次第では次年度以降の地方交付税への影響があるのか。

**答** 給与削減の実施にかかわらず、ラスパイレズ指数が、100を超えているところについて、影響がでる可能性がある。  
**問** 職員の給与は生活給なので減額は認められない。  
**答** 市としても組合と交渉を重ね協議の上、上程した。

## ◆白河市税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、公的年金等の所得に対する市民税の特別徴収制度について年金所得者の納税の便宜や徴収事務の効率化や個人投資家

の積極的な市場参加を促すため、金融所得課税の一本化を進める観点から見直しを行うものです。

**問** 賦課期日に市外に転出した場合の特別徴収について

**答** 老齢基礎年金等の年額が18万円未満の方や介護保険料が老齢基礎年金等から特別徴収されていない方などは、一定の要件に満たないため特別徴収の継続の対象とならない。

## ◆白河市自治基本条例

本市まちづくりの基本理念、基本原則等を明らかにして、自立した地域社会を市民参画の下、築いていくため、その基本ルールとなる本条例を制定しようとするものです。  
以下は、白河市自治基本条例の構成です。

### 前文

第一章 総則、

第二章 市民、市議会、市の

役割等

第三章 情報の共有

第四章 市民参画及び協働

第五章 市政運営

第六章 危機管理

第七章 条例の検証

**問** 市の計画として総合計画とこの条例で規定されている中長期的な市政運営の指針とがあるが、基本条例で指針としたのはなぜか。

**答** 地方自治法改正に伴い、基本構想に基づく総合計画の策定義務がなくなったもの、市としての方向性を定めたものが必要であると考え今回、中長期的な市政運営の指針としたものである。

**問** 市民にどの様に周知させるのか。

**答** 基本的には条例文ではなく、説明解説文を付けた小冊子を各家庭に配付する予定である。

**問** 第28条の実施状況等の検証の必要性が認められた時に検討機関を市長の下に設置するとあるが常設した検証委員会を議会及び市民からのメンバー構成でお願いはどうか。

**答** 基本的には提出した条例条文内容で進めて行きたい。

## 一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ84億3729万4千円増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ420億996万7

千円とするもの。

歳入関連では県支出金や平成24年度決算認定等での繰越金等で70億近く占めます。歳出では総務費で18億8883万8千円の増額になります。

## ●総務部関係

**問** 庁舎の今後の修繕予定は。

**答** 必要な箇所においては修繕を行っており、現段階での予定はない。

**問** 地籍調査事業について減額の理由は。

**答** 補助金減額に伴い、一部工程を見直し、面積が縮小したことが要因のひとつである。

## 平成25年度大谷財産区特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出補正総額74万円増額となり、歳入歳出予算総額は88万4千円となりました。

▼付託された議案は、いずれも原案のとおり承認、または可決しました。

# 市民産業常任委員会

市民産業常任委員会に付託された議案の審査経過と結果について報告します。

## ◆専決処分の承認を求めることについて

### 一般会計補正予算(第3号)

8月5日から6日にかけて発生した集中豪雨による農業用施設等復旧に係る経費について専決処分したものです。

**問** 2件の災害について両方とも激甚の指定か。

**答** 新聞報道によると白河市は2件とも対象となっている。今後、現地に補助の災害査定が入る予定である。



豪雨被害状況(白坂地内)

### 一般会計補正予算(第4号)

#### 産業部関係

**問** 農用地等除染対策事業について

**答** 水路の除染対策で空閑線量の高い大信地区の宇原・十日市・日仙地区の用水路U字溝の中に溜まっている土砂を撤去して、仮置き場に搬出する事業である。

**問** U字溝を布設してある水路のみなのか。

**答** 基本的にU字溝を布設してある用水路と考えている。

**問** 木質バイオマス利用施設等整備事業について

**答** 国の森林整備加速化事業の一環であり、市内の民間事業者が間伐材をチップ化する機械を導入し、木質バイオマス利用施設を整備する事業である。

**問** 企業誘致促進協議会について

**答** 白河市の複合型工業団地とビジネスパーク、それと、田村西部工業団地の企業誘致促進のために、県企業局・田村市・三春町・白河市の4団

体で運営している。協議会の主な事業としては、情報の収集活動、調査活動、企業誘致活動を実施している。今後も、活動を引き続き実施し、存続していく。

### 南湖公園管理費について

**答** 現在、砂利道で相對の通行が出来ないので、舗装を実施して相對の通行ができる幅員としたい。一番奥にバスを誘導して、千代の堤を経由して翠楽園まで人を誘導したいと考えている。

### ●市民生活部関係

#### 集会所整備事業について

**答** 新たに、白河地域に新築で1箇所、東地域に改修で1箇所を予定している。

合併特例債や有利な補助金を活用して、地域バランスを考慮して、古い集会所の整備を進めている。



撈目集会所

**問** 民間住宅除染事業の1世帯あたりの平均除染費用は。

**答** 面積で1,100㎡、費用で30万円を想定している。

**問** 聖ヶ岩ふるさと森整備事業の概要について

**答** ビジターセンターの建設は、現在の管理棟の南側を予定しており、ボルダリングの施設も併設する計画である。26年年度末に完成、27年度当初オープン予定である。

**問** 同施設の案内看板等も整備していただきたい。

**答** 整備計画の中で予定している。

### 平成25年度白河市卸売市場特別会計補正予算(第1号)

**問** 風評被害による売り上げ額について。

**答** 震災前と比較して、売り上げ額が平成23年度では約9,900万円、平成24年度では、1億6,000万円減少している。25年度の同時期においては、9,200万円減少している。この傾向から思ったほど回復は見込めないが、新たな利用先の確保等営業努力をしている。来年度以降も厳しい状況と思われる。



白河市卸売市場

▼付託された議案は、いずれも全会一致で、原案のとおり可決しました。

# 教育福祉常任委員会

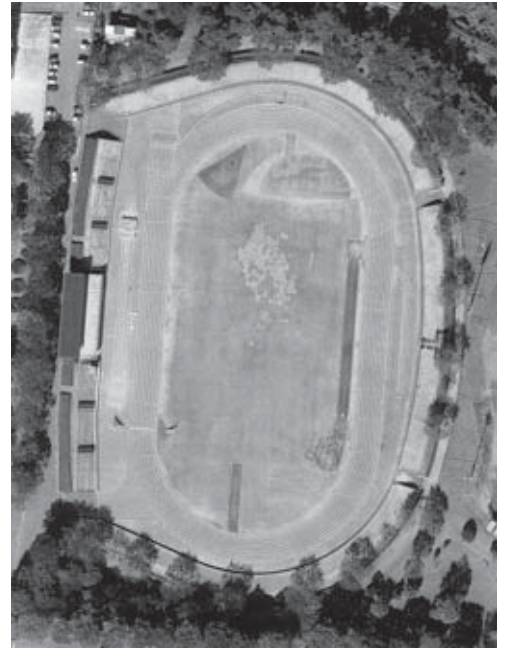
教育福祉常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

## ◆カタルフレンド基金事業 白河市総合運動公園陸上競技場改修工事請負契約について

カタルフレンド基金事業  
白河市総合運動公園陸上競技場改修工事請負契約を締結するため、地方自治法の規定により、議会の議決を得るものです。

契約の内容は、工期は平成26年3月28日まで、契約金額は1億7682万円、相手方は日本体育施設(株)東北支店(仙台市)であります。  
カタルフレンド基金とは、カタル国元首が東日本震災で被災した福島県、宮城県、岩手県の三県の復興を支援するために、平成24年1月に総額1億米ドル(約80億円)を寄付し基金を設立したものです。

支援内容は「子どもたちの教育」、「健康」、「水産業」の三分野を支援するもので、白河市は「健康」分野で第2回公募に応募し、採択を受けました。



白河市総合運動公園陸上競技場

## ◆白河市国民健康保険条例の一部を改正する条例

金融所得課税の一体化に伴う地方税法の改正により、公社債等に係る所得に対する課税の見直し等を行うため、所要の改正をするものです。

## 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出補正総額は697万9千円増額となり、歳入歳出予算総額は71億6632万2千円となりました。

**問** 本市における高額医療費共同事業及び保険財政共同安定化事業の拠出金と交付金の関係について

**答** 本市では、拠出金で支払う額より交付金で入ってくる額のほうが多くなっています。

## 介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出補正総額は1億2634万9千円減額となり、歳入歳出予算総額は48億1551万円となりました。

**問** 介護給付費準備基金の残高額について

**答** 平成25年4月1日現在の残高が2448万8832円となり、これに今回の積立金8572万2062円を加えると、1億1021万894円となります。

## ◆専決処分の承認を求めるところについて

これは、8月5、6日の豪雨により、農業用施設を始め、旗宿・白坂地区を中心に被害が発生し、緊急に復旧対応が

必要となったため、8月8日に補正予算を専決したものです。

## ●教育委員会関係

公立学校補助災害復旧事業として、市立第五小学校の北側法面が崩落したため、その復旧費として624万8千円を補正しました。

国庫補助金の補助率は3分の2、起債の充当率は補助残の100%となっています。

## 一般会計補正予算(第4号)

### ●保健福祉部関係

**問** 特別児童扶養手当支給事業の受給者数と手当額について

**答** 昨年度で125名が受給しており、手当額は1級で月5万400円、2級で3万3570円となっています。

**問** 子宮頸がん等ワクチン接種における昨年度の実績と副作用における報告について

**答** 昨年度は1回目189人、2回目200人、3回目310人の接種を行っています。また、ワクチン接種による副作用の報告については医療機関に義務付けられており、本市においては報告はありません。

## ●教育委員会関係

**問** 休園中の関の森保育園に係る減額補正後の予算残額分の使途について

**答** 地域の子育て支援対策事業として、同園で「森の広場」を毎月定期的に開設しているため、光熱水費等、施設の維持管理経費に充てるものです。

**問** 各地域の公民館の正職員及び嘱託職員の配置について

**答** 正職員は中央公民館に3名、他の3つの公民館には兼務職員が各1名配置されており、嘱託職員は、各公民館に1名ずつ配置されています。

**問** 体育施設整備事業によるテニスコートの利用状況と設置年について

**答** しらさかの森は、昭和58年に設置され、平成24年度の実績で2万2821人、東風の台は、平成3年に設置され、平成24年度の実績で9818人が利用しています。

▼付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。



# 建設水道常任委員会

建設水道常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

## ◆専決処分の承認を求めることについて

8月5日から6日にかけて発生した集中豪雨により被災した「白坂パークヒルズ1号線」ほか3箇所 の道路の復旧対応に係る経費について、緊急に予算措置を必要とし、専決処分したものです。

## ◆関川窪市営住宅建設事業建築工事請負契約の一部変更について

松風の里市営住宅建設事業建築工事請負契約の一部変更について

## ◆八竜神市営住宅建設事業建築工事請負契約の一部変更について

各市営住宅建設事業建築工事請負契約の中の共通費等の一部変更するものです。

## 問 各市営住宅の建設後の安全性について

答 当該市営住宅敷地の地盤は、それぞれあまり良くありませんが、当該市営住宅は、建物を支える支持杭を施工していますので、建物の安全は確保されています。

## 問 東日本大震災前に入居者への対応について

答 当該建築工事は、東日本大震災により全壊となった市営住宅の再建設でありますので、従前の入居者は優先的に入居することで事業を進めています。

## ◆小峰城跡（1工区）石垣復旧工事請負契約について

問 契約の相手方の技術力について

答 当該工事は、鹿島・鈴木特定建設工事共同企業体で行われますが、鹿島建設株式会社は、国内の城郭の石垣修復の実績が多々あり、専門的な技術を持っています。

## ◆決算の認定について

平成24年度白河市公営企業会計の決算について、地方公営企業法の規定により、議会の認定に付するものです。  
①平成24年度白河市水道事業会計、②平成24年度白河市工業用水道事業会計を審議しました。

## 問 水道事業会計決算において

答 水道料金徴収率の向上が見受けられるところであり、その対策について

答 料金徴収業務を委託して

いる株式会社ジェネツと水道部で、2ヵ月ごとに料金徴収率の向上の検討会議を開き、料金納入者の個別の事情を考慮しながら徴収を推進しています。

## 問 工業用水道事業会計決算に 関し、三菱ガス化学株式会社 の今後の使用水量の見込み について

答 三菱ガス化学株式会社との使用水量契約には至っていませんが、現在進めている「工業の森・新白河B工区」の配水池は、1日当たり4千トンの工業用水の供給が可能な施設です。

## 公共下水道事業特別会計 補正予算(第2号)

歳入歳出補正総額は1億142万3000円増額となり、歳入歳出予算総額は17億9904万9000円となりました。  
主な内容は、東電福島第一原発事故による放射能災害に対応する経費です。

## 農業集落排水事業特別会計 補正予算(第2号)

歳入歳出補正総額は209万5000円増額となり、歳入歳出予算総額は12億3409万3000円となりました。

た。  
主な内容は、泉岡地区の汚水管布設工事費です。

## 個別排水処理事業特別会計 補正予算(第1号)

歳入歳出補正総額は2490万2000円増額となり、歳入歳出予算総額は9168万5000円となりました。

## 簡易水道事業特別会計 補正予算(第2号)

問 大信西原地区の水道水の供給について

答 当該地区の水源は湧水であり、東日本大震災以降、減少傾向にあることや漏水個所が多発したことなどから、配水池の貯水量に変動が見られたため、安定給水に向けた検討を行っています。

## 水道事業会計補正予算 (第2号)

今回の補正予算の主なものは、議会の議決を経なければ流用することの出来ない経費の補正で、予算に定めた職員給与費を1億2354万円に改めるものです。

## 一般会計補正予算(第4号)

主な内容は、福島定住等緊急支援交付金による都市公園の遊具等整備事業や小峰城石垣の災害復旧整備事業に係る経費などです。

## 問 中心市街地活性化事業の 空き店舗賃借料補助金につ いて

答 当初予算に計上した3店舗は既に決まり、さらに申請が見込まれることから、5店舗分の補助金を計上し、活性化を進めていきます。

## 問 公園費の遊具等整備事業 について

答 原発事故の影響により減少した子どもの運動機会を確保するため、福島県内の集客の多い広域的に利用される公園の遊具更新を国の補助によって行うもので、建設部所管においては、中田の総合運動公園及び鶴子山公園が該当になります。

▼付託された議案は、いずれも原案のとおり承認、同意、認定または可決しました。